

校歌レリーフへの想い



藤井 俊二（翔夢）
（三高39回卒）

「もしもし、藤井さんですか？三本松高校の校長の泉谷です。」

その日は突然やってきた。お話を伺いすると、創立百二十周年記念事業として体育館を新築し、そこに新しい「校歌のレリーフ」を掲げたいので校歌を書いて欲しいとのこと。

最初、なぜ私が？と不思議だったが、卒業生で書道家を探していたところ同窓生などあらゆる情報からSNSを通じて私のブログを読んでくださりご依頼くださった。

幼少期から書道を習い、数々のコンクールで賞を獲得するも途中から野球に明け暮れ甲子園を目指していた。もちろん三高野球部に入って「甲子園に出る！」そう思っていた。しかしながら、理数科に進学した私は、夢儚く野球を断念した。

三高を卒業し、大学で建築学科に進みやがて建築家になり独立するも「甲子園を諦めた」過去の自分がいつも蘇ってくる。

もう一度と諦めたくないと五十歳で一念発起し書道家へ転身した矢先で校歌のご依頼であった。

こんなに光栄なことはない。京都で暮らしていた私は、早速校長先生を訪問した。泉谷校長の熱い想いをお聞きして先代の校歌を拝見し構想を練った。

こだわったのは和紙。兵庫県多可町の「杉原紙」に出会い多可町の手漉き工房まで出向いて和紙を選択した。墨は、奈良の古梅園の固形墨を使用。

今の世代の生徒たちも読みやすいように大きく書体を崩さず、それでいて私の大好きな校訓「友愛・誠実・剛健」を自分なりに表現した。

校歌と言えば高校野球。かつて私が甲子園を諦めて後悔したことが糧となり書道家になつて校歌を書かせて頂くことで夢が実現した。

この校歌を見た生徒や学校関係者の皆様、夢を諦めず挑戦し幸せな人生を送りますように。

マスターズ甲子園

香川大会初代王者に

野球部OB会長 久保 輝 起（三高34回卒）

三高野球部は、これまでに春一回、夏3回の甲子園出場を果たしています。新型コロナウイルスの影響で2年ぶりに開催された夏の香川県予選では、準決勝まで勝ち進み、惜しくも甲子園出場を逃しましたが、4年前に全国ベスト8に輝いたことは、記憶に新しいところです。

一昨年には、県内の野球部OBが集まり香川県高校野球マスターズ連盟が発足、今夏には、香川県高校野球連盟の協力を得て、第1回マスターズ甲子園香川大会が開催されました。

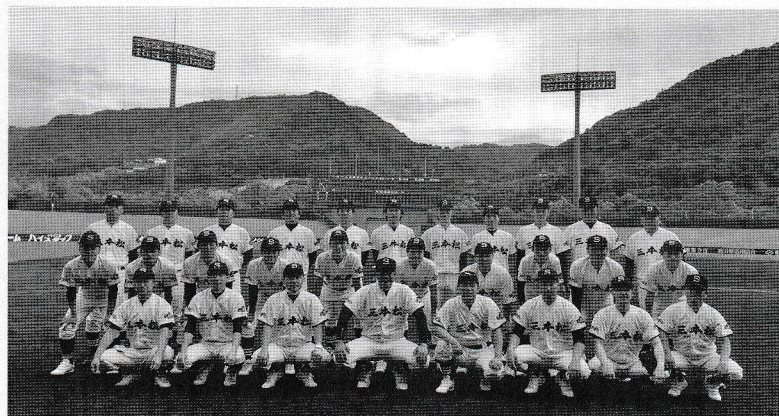
現役さながらの白熱したプレーが展開される中、私自身も40年ぶりに「三本松」のユニホームに袖を通し、緊張感を持つてベンチから応援しました。三高OBチームは、持ち前の強力打線が爆発し、見事優勝。香川県初の代表として、甲子園への出場権を獲得しました。大会を通して、優勝とともに、年代を超えてOBの交流が深まったことは大きな喜びです。

本大会は、12月4日に甲子園球場で開催され、第4試合で愛媛県代表の今治北と対戦しますので、多くの皆様の応援をよろしく願います。三高野球部OB会のホームページにも紹介していますのでご覧ください。

最後になりましたが、同窓会の皆様方には、日頃、野球部の活動にご支援、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

今後とも、よろしく願いいたします。

マスターズ甲子園香川大会の結果
二回戦 三本松6ー5高松西
準決勝 三本松7ー2高松商業
決勝 三本松13ー2観音寺総合



マスターズ甲子園香川大会で優勝した野球部OBの皆さん(レクザムスタジアム)